

鋼とコンクリート複合構造物の一体性向上用充填モルタル

太平洋

ゴムラテパック

施工時、細部の充填に最適 高い付着性で耐久性も向上!

鋼とコンクリートの複合構造物においては、入念な施工を実施してもコンクリートを完全に充填する事が困難な狭隘箇所が存在します。ゴムラテパックは専用の充填袋を用いて狭隘箇所にコンクリート打設前に充填する事で、充填不良を防止します。ゴムラテックスの特性により、鋼材やコンクリートへの付着性に優れ、構造物の一体性・耐久性を向上することができます。



複合構造物の
コンクリート
充填不良に
対応!

(上)試験体断面、
(下)試験体要所拡大

施工手順



1 ゴムラテパックをハンドミキサーで練り混ぜます。

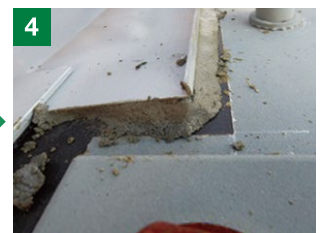
下向きでの充填作業



2 充填袋に練り混ぜたゴムラテパックを詰め、上端を縛ります。充填袋の先端は適当な大きさに切断します。



3 充填袋の先端を充填箇所に挿入してゴムラテパックを絞り出して充填します。



4 充填後に左官用コテやヘラなどで均して形状を整えます。

水平の充填作業



2 ゴムラテパックが流出しないように、施工個所に型枠としてスポンジパッカー等を貼り付けます。1面は注入用として型枠を設置せず空けておきます。



3 充填袋にゴムラテパックを詰め、型枠内に絞り出して充填します。



4 充填後に左官ゴテやヘラで形を整え、硬化後に型枠を取り外します。(約3時間後)

荷 姿

ゴムラテパックパウダー	12kg (2kg/袋×6袋)
ゴムラテパック混和液	2.5kg/樹脂缶
絞り袋	6枚
500mL計量カップ	1個(ゴムラテ混和液計量用)
ゴムラテパック凝結遅延剤	30g/袋
さじ	1個(ゴムラテパック凝結遅延剤計量用)
取扱説明書	1部
総重量	14.5kg/箱

[TABLE-1] ゴムラテパックの配合

	配合量			練り上がり量
	ゴムラテパックパウダー	ゴムラテパック混和液	ゴムラテパック凝結遅延剤	
1袋あたり	2kg (1袋)	0.37~0.39kg (標準0.38kg)	[TABLE-2]参照	1.25L
1㎡あたり	1,605kg	305kg		1,000L

[TABLE-2] ゴムラテパック凝結遅延剤の添加量

養生温度	ゴムラテパックパウダー	ゴムラテパック混和液	ゴムラテパック凝結遅延剤	可使用時間の目安
5~20℃			2~3g	20分
20~30℃	2kg (1袋)	0.37~0.39kg	3~4g	
30~35℃			4~5g	

* ゴムラテパック凝結遅延剤計量用のさじは、擦切り1杯で2.5gとなります。

使用上の留意事項

- 練り混ぜには、必ずゴムラテパック混和液を用いてください。
- 外気温が5℃以下の場合は作業を行わないでください。やむを得ず施工する場合は、シート等で覆うほか、ヒーター等による養生を行ってください。
- 施工中および施工後早期に強風、日射、降雨、降雪等の影響を受ける恐れがある場合は、シートで覆う等の養生を行ってください。
- 練り混ぜにはアルミニウム製の羽根は使用できません。絶対に用いないでください。
- ゴムラテパックパウダーは、雨露等がかからず湿気の少ない場所で、パレット等を敷いて床面から離し、ビニールシート等で覆って保管してください。
- ゴムラテパック混和液は、直射日光や凍結による変質・劣化を防ぐため、5℃以上30℃以下で保管してください。
- 廃棄する場合は、硬化後に産業廃棄物として処理業者に廃棄を依頼してください。
- 排水等は、水質汚濁防止法の関連諸法令に従って廃棄してください。
- 亜硝酸リチウムの添加は有害なNOxガスが発生しますので、絶対に行わないでください。

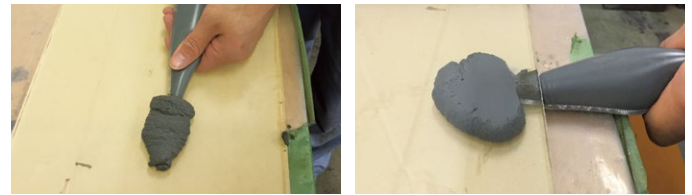
練り混ぜ方法

小型のパケツ等にゴムラテパック混和液を0.38kg (ml) 計量し、環境温度に応じた量のゴムラテパック凝結遅延剤を加えて軽くかき混ぜます。ハンドミキサーを回転させながらゴムラテパックパウダー2kg (1袋) を徐々に加えてダマが無くなるまで、約90~120秒程度練り混ぜます。使用時は、添付の絞り袋に入れて施工箇所に注入します。



[TABLE-3] ゴムラテパックの物性値 (20℃)

試験項目	試験方法	測定値
15打フロー値	JIS R 5201	200mm
圧縮強度 (N/㎡)	4時間	20N/㎡
	1日	26N/㎡
	28日	42N/㎡
付着強度 (鋼材)	28日 JIS A 1171	3.7N/㎡
付着強度 (コンクリート)	28日 JIS A 1171	4.4N/㎡
長さ変化率	28日 JIS A 1129	265 × 10 ⁻⁶



安全上の注意事項

- 本製品は、カタログに記載されている方法でご使用ください。
- 本製品は、セメント同様にアルカリ性を示します。ご使用の際は、眼、鼻、皮膚および衣類に触れぬよう保護具(ゴム手袋、保護メガネ、マスク等)を着用ください。
- 誤って眼に入った場合は、直ちに清水にて十分洗浄し、速やかに医師の診察を受けてください。
- 誤って飲用した場合は、直ちに吐き出して、清水で十分洗浄し、速やかに医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着すると肌荒れを引き起こすことがあります。付着した場合は直ちに水洗いしてください。
- 作業後は手洗い、うがいをしてください。
- 詳細な内容が必要な場合は、安全データシート(SDS)をご参照ください。

このカタログに記載の諸性能および諸物性は、環境条件や使用条件などによりカタログと異なる結果を生じることがあります。十分にご検討の上、ご使用頂きますようお願い申し上げます。このカタログの記載内容は、予告無しに仕様や取扱いを変更することがありますので、ご了承下さい。

太平洋マテリアル株式会社 <http://www.taiheiyo-m.co.jp>

営業本部 機能性材料営業部

〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー15階 Tel.03-5832-5217 Fax.03-5832-5254

北海道営業部	〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西5-1-3 日本生命北門館ビル	Tel.011-221-5855	Fax.011-251-5573
東北支店	〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町1-1-1 大同生命仙台青葉ビル	Tel.022-221-4511	Fax.022-267-0208
東京支社	〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー16階	Tel.03-5832-5241	Fax.03-5832-5271
中部支店	〒453-0801 愛知県名古屋市中村区太閤3-1-18 名古屋KSビル	Tel.052-452-7141	Fax.052-452-7140
関西支店	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル4階	Tel.06-7668-6001	Fax.06-7668-6006
広島営業部	〒732-0828 広島県広島市南区京橋町1-23 三井生命広島駅前ビル	Tel.082-261-7191	Fax.082-261-7198
高松営業部	〒760-0050 香川県高松市亀井町7-15 セントラルビル	Tel.087-833-5758	Fax.087-833-5181
九州支店	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4-2-31 第2サンビル	Tel.092-781-5331	Fax.092-721-6444